



# 皆さんに寄り添う政治

自民党の国会対策委員会副委員長として、衆議院議院運営委員会理事として、国民のために汗を流し続ける、衆議院議員の新谷まさよしさん特集します。



自由民主党を代表して、衆議院本会議にて質問(令和5年3月16日)

## 新谷 まさよしさん

衆議院議員(党広島県衆議院比例区第三支部長)

日頃より、私の政治活動に対し多くの方々から応援や激励の言葉、そしてご指導・ご鞭撻を賜っておりますこと、誠に感謝申し上げます。今、皆さまを取り巻く生活・経済・社会保障で大きな動きがあり、今後の日本の形を考へる重要な節目といえます。また、外交・安全保障環境や災害発生など、この国や皆さまを守るための方策もますます重要となっております。さまざま課題に立ち向かいながら、引き続き、皆さまのための政治活動に全力を尽くす覚悟です。

新谷 正義



衆議院本会議にて質問(令和5年3月16日)

### 新谷まさよしさんに聞く!

世界情勢を見ると、力による現状変更の試みが続けられているという実態があり、わが国の存立に関わる事態も頻発しています。一方、新型コロナウイルス感染症については、5類感染症へと移行されました。感染対策に留意しつつも、わが国の経済をしっかりと前に進めていかなければなりません。

去る1月27日から6月21日の間、通常国会が開会されました。私も議院運営委員会理事、党国会対策副委員長として円滑な国会の運営に全力を尽くしてまいりました。

今国会では、3月16日の衆議院本会議において、重要議題の1つである「**全世代対応型社会保障法案**」(全世代対応型の持続可能な社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律案)について、自由民主党を代表して、**岸田文雄総理**および**加藤勝信厚生労働大臣**に質問を行いました。今後の国民生活に直結する大きな課題であり、社会保障を専門とする議員の1人としても、本法案の成立に粉骨砕身努力した次第です。

次に、少子化およびそれに伴う人口減少があります。この法案の成立により、子育て世代について、産前産後期間における国民健康保険料を免除し、支援することが可能となり、**13年間据え置かれていた出産育児一時金を今年4月から2割増の50万円に増額**するなど、今後とも、子育てに家庭に積極的な支援を行ってまいります。

また、併せて「医療保険制度の基盤強化」「医療・介護の連携機能及び提供体制等の基盤強化」も内容として盛り込まれています。国民がそれぞれの地域において質の高い医療・介護サービスが必要に応じて受けられることができる体制整備、国民のニーズに合った医療機関を選択できるように情報提供をし、医療サービス



東広島バイパス・安芸バイパス開通式にて、ごあいさつ(令和5年3月19日)

向上につながるためのかかりつけ医療機能の制度整備、介護利用者情報を本人・医療機関などと共有することにより質の高い介護サービスが提供できる介護情報基盤の強化などを実現するものです。

通常国会が閉会すると、次期臨時国会に向けた政策や来年度の予算編成に向けた検討を進めていく時期に入りますが、地元の皆さまのリアルな目線が何よりも重要です。

ご承知のように、**東広島・安芸バイパスが完成**し、3月19日に開通式が行われました。これは、関係各位の長年のご苦労が形となったものであり、尽力された皆さまにも心よりの敬意を表したいと思います。**地元**の皆さまの**利便性や経済発展の基盤**となることはもちろんのこと、災害時の救急車両の運行の迅速化など、まさに**命の道**としても、完成が待ち望まれておりました。

また、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたことを受け、多くのイベントや行事が再開されていますが、今後はさまざまな行事の機会も活用させていただきます。できる限り地域の皆さまと直接お話をさせていただきたいと願っております。今後とも倍旧のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。



## 新谷正義さん×加藤勝信厚生労働大臣

ともに厚生労働政策のスペシャリストとして活躍する、加藤勝信厚生労働大臣と新谷正義さん。感染症対策やこの国のビジョンについて熱く語り合いました。今回は、その対談の一部をご紹介します。

**新谷** G7保健大臣会合お疲れ様でした。実は、私も四年前に厚生労働大臣の代理でフランス・パリでのG7保健大臣会合に出席させていただいたことがあります。当時はロシアによるウクライナ侵略やコロナ禍前ではありましたが、新型インフルエンザやエボラ出血熱というような感染症対策が課題となっており、ワクチンや治療薬をどのように届けていくか、ユニバーサル・ヘルズ・カバレッジの実現という、まさに今回も議題に挙がった内容について、わが国の立場を説明させていただいたことは印象深い経験です。

**加藤** そうした課題はずっとつながついて、当時から薬剤耐性の問題なども取り扱っていたはずですが。今回、新型コロナウイルスの次のステージに入ったということも踏まえ、先のG7保健大臣会合においても、ワクチンや治療薬を各途上国に対し公平公正かつ迅速に供給するための方策が重要な焦点になっていました。薬剤耐性を持つ感染症のAMR対策について、現在日本は収益確保が難しいAMRの治療薬に対し製薬企業に開発のインセンティブを提供するモデルの開発促進策を進めようとしています。これは、イギリスが先行して実施している施策であり、今回イギリスの大臣とも会話し、お互いの経験を共有していくことになりました。

**新谷** 耐性菌に対する抗生剤の開発は他国でも課題となっており、長期的視野で取り組んでいかなければならない課題であると認識しています。

**加藤** 抗生剤の開発が進んでいない背景には、作ったとしても収益が上がらないという課題があります。製薬企業が開発・普及を進める過程で収支を成り立たせ、それぞれの企業が研究開発を進めるための環境整備をする必要があります。コロナ禍への対応のため、途上国の医療資源が感染対策に集中し、コロナ対応以外の対策のリソースが足りず、進捗が悪かったり、後戻りしているという状況もありました。このG7保健大臣会合のタイミングで、日本が主導してきたこれらの取り組みの必要性と重要性を共有できたことも大きかったと考えます。

**新谷** さて、新型コロナウイルスに5類に分類されることとなり、感染対策に関する制限も大きく緩和されました。本会議も全員出席になりましたし、代議士会も久々に開催され、私も議事の説明の役割を担っています。新型コロナウイルスの感染対策が徹底され、きちんとマスクを着用したこともあり、インフルエンザの感染者数が少なかったといえると思います。毎年約4000人程度の方がインフルエンザで亡くなっていたものが、コロナ禍の間は100人を切っていました。これからもメリハリの効いた感染対策をしっかりとお伝えしていかなければならないと考えています。

**加藤** あとは手指消毒、外出の後などに必ずきちんと手を洗ったり、感染対策のためにはさまざまな習慣が身に付いた方もいるのではないかと思います。一つ一つの衛生面の取り組みも地味ではあるものの、さまざまな場面で、コロナだけではなく複数の疾病の予防につながると考えています。

**新谷** 私も医者としての経験を生かして日頃の感染対策を推奨してまいりたいと思います。

**新谷** 一方、子育て施策については、子ども家庭庁が発足したところですが、元々の厚生労働省の見立てより早く少子化が進んでしまっている状況があります。国会の会期中には出産育児一時金の増額も決まりました。

**加藤** 出産育児一時金については、次に出産費用を保険適用していくというような方針を出させて頂いています。保険適用の内容をしっかりと議論し、単に出産だけな



加藤勝信厚生労働大臣と対談(令和5年5月23日)

か、出産に至る妊娠時における妊婦健診などの対応も地方によって取り扱いにばらつきがあり、それも含めてどのように整備するのかしっかりと議論が必要で、今は財源をどうするかも含め、これも未来戦略会議において議論しているところです。子供と子育て家庭を応援しているというメッセージをしっかりと伝えていくことも重要であると考えています。

**新谷** 生涯未婚率が増えている状況があります。希望をもって結婚、子育てに取り組めるような社会環境を創っていかねばならないと考えます。

**加藤** 今回コロナ禍の影響で婚姻数も下がっています。それに併せ出生数も当初のトレンドより下振れしている状況です。現在、結婚や出産について、タイミングを検討している方もいらっしゃると思います。そうした方々を後押しし、本来のトレンドにつなげていくことを目指していきたいです。

**新谷** 私もかつて厚生労働省で大臣政務官を務めさせていただきました。現在は衆議院の議院運営委員会の理事と党の国会対策副委員長として厚生労働関係の国会運営に携わらせていただいています。こうした立場からも、今後も加藤勝信厚生労働大臣と共に、国民の皆さまの命と暮らしを守り抜くために全力を尽くす覚悟です。

**加藤** 今後とも一緒に頑張りましょう。



### 衆議院議員

昭和50年3月8日  
平成13年3月  
平成18年3月  
平成18年～24年  
平成24年12月  
平成29年10月  
平成30年10月  
令和2年9月  
令和3年10月  
令和3年11月  
令和4年9月

### 新谷正義さんプロフィール

広島県東広島市生まれ  
帝京大学医学部卒業、同年医師免許取得  
東京大学経済学部卒業  
病院長  
第46回衆議院総選挙にて初当選  
第48回衆議院総選挙にて広島4区より3期目の当選  
厚生労働大臣政務官就任  
総務副大臣就任  
第49回衆議院総選挙にて広島4区より4期目の当選  
自由民主党副幹事長就任  
自由民主党国会対策副委員長就任  
衆議院議院運営委員会理事就任

### 役職(歴任)

**国会・政府** 議院運営委員会理事(現職)/国土交通委員会 理事/災害対策特別委員会 理事/厚生労働委員会 理事/総務委員会 理事/厚生労働大臣政務官/総務副大臣

**自由民主党** 国会対策委員会副委員長(現職)/副幹事長/厚生関係団体委員会 委員長/厚生労働部会 副部会長/国土交通部会 副部会長/青年局 顧問/憲法改正推進本部 幹事/データヘルズ推進特命委員会 幹事/死因究明体制推進に関するプロジェクトチーム 幹事長代理/医療分野の研究に関する小委員会事務局長/医師の働き方改革に関する検討プロジェクトチーム 幹事/日本の安全な麻酔・周術期医療を考える議員連盟 幹事長